

令和4年度第2回 日進市にぎわい交流館運営協議会議事録

日 時	令和5年2月16日（木） 午後6時00分から7時15分まで
場 所	にぎわい交流館 ABC 会議室
出 席 者	鈴木美佐子、篠崎伊都子、齋藤由美、村野政章、上野道子、石原貴代、 関千里、水藤芳枝、辻井重則（敬称略）
欠 席 者	川合邦彦（敬称略）
事 務 局	大鐘徹也（市民協働課長）、長原詠子（市民協働課主幹）、西澤寿一（市 民協働課係長）、秋山里奈（市民協働課主事）、野村こはる（市民協働 課主事）
指定管理者	小濱勇、寺田裕美、楠優子、鈴木孝廣（敬称略）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	無
議 題	(1) 令和4年度にぎわい交流館運営実績について (2) 令和5年度にぎわい交流館運営計画について (3) その他

発言者	内 容
事 務 局	開会を宣す（午後6時00分）
	以後の議事の取り回しを、委員長に依頼
委 員 長	会議の傍聴者の確認
	傍聴申し出無し
	議題「(1) 令和4年度にぎわい交流館運営実績について」に関して、説 明を求める。
指定管理者	資料に沿って説明
事 務 局	補足説明です。令和4年度実績で大きかったのは7月に3年ぶりに対面 開催したわいわいフェスティバルです。にぎわい交流館は事務局として、 コロナ禍で対応が難しい中多くの団体と調整し、無事開催できました。 また、今年度は市の企画政策課や財務政策課などが出展し、市と市民活 動の協働を推進いたしました。
指定管理者	議題(2)「令和5年度にぎわい交流館運営計画について」に関して、資 料に沿って説明
事 務 局	補足説明です。新型コロナウイルス感染症は5月に分類が第5類になる 予定です。国や県からの通知に基づき、市の新型コロナウイルス感染症 対策本部会議で市の方針が決定されるので、その市の方針に基づき、に ぎわい交流館と協議して令和5年度の運営にあたっていききたいと考えて おります。
委 員 長	質疑・意見を求める。
委 員	にぎわい交流館登録団体が新しく13団体登録されており、増加傾向で 良いことだと思います。新たに登録した団体さんは、その後活発に活動 していますか。また、わいわいフェスティバルに出展予定はあるのでし ょうか。
指定管理者	にぎわい交流館受託事業の「ことごと交流会」に出ていただく団体さん もいらっしゃいます。ほかにも、子ども達に勉強を教える団体さんが週 に数回定期的に利用されるなど、皆さん会議室などを利用して活動して います。

	いずれの団体さんも、わいわいフェスティバルにはまだ出展予定はありません。
委員	ランチコンサート演奏者のレベルという言葉に引っかかりますが、ぜひ再開してほしいです。音楽のちからはフレイルや認知症にも効果があると言われてしています。
委員長	アンケートの回答がばらけているとあるので、どのようにばらけているのかご説明いただければ良いと思います。
指定管理者	音楽の音でおしゃべりできないという反対意見もあれば、知り合いがいるから聞きに来ていたという賛成意見もあります。 アンケートでは演奏のレベルについて言及されている方もいました。ランチコンサートをやってほしい方はレベルを問わない方が多いです。サロンを利用されている方に積極的にアンケートを取っているところであり、BGM程度ならという意見もあるので慎重に検討していきたいです。
委員	コロナ前までのランチコンサートの状況は実際どうだったのでしょうか。
指定管理者	演奏する方にとっては、広く門戸を開いていたので間違いなく魅力的な機会を提供できており、コンサートを楽しみにしている方もたくさんいらっしゃいました。ただ、先ほど説明したようにお喋りを楽しみながらランチを食べたいという意見や、ワンデイシェフの団体さんから、大きな音が鳴っている中でランチ提供は難しいという意見もいただいていたので、バランスを取りながら週3回で行って来ました。いずれかの形で再開したいですが、ベストな方法を見出したいと考えております。
委員	会議室利用状況が増えているのは、コロナ対策が行き届いていると皆さんに認識されたからだと思うので、運営に感謝しています。 市民サロン運営状況でマーケットとあるが、せっかくワンデイシェフという良い名称もあるので、マーケットも魅力的な名称にしたら良いのではないのでしょうか。
委員	ワンデイシェフとして、人員不足やメニュー、宣伝方法など悩みは尽きません。活動を続けていくためにはどうしたらいいか模索中です。
指定管理者	市民協働課から職員向けにワンデイシェフの周知や、にぎわい交流館の公式アカウントでランチの宣伝を行っています。また、ワンデイシェフ同士の交流会ではありませんが、月に一回調理室会議の場で情報交換ができます。 また、ワンデイシェフさんに、にぎわい交流館会議室でお昼に終わる大人数の会議があることを伝えることも有益であると、本日気づきを得ました。
委員	ランチの日が少なく、たまたま行ってもお弁当提供していない日が多いので、ユーザーとしては毎日ランチがあると利用しやすいです。 にぎわい交流館のサロンは人が少なく落ち着いている所と定着してしまったかもしれませんが、早くにぎわいを取り戻してほしいです。 わいわいフェスティバルについて、昨年までは毎年色々なやり方で試行錯誤が続いていて、何がしたいのかと疑問ではありましたが、2023年は2022年の踏襲で、手ごたえがあったのかなと思っています。 人を集めるということより伝えるということを特化し、実行委員も少数精鋭で素晴らしいです。説明会もSDGsの全体的な説明でよかったの

	で、皆がわいわい集まるわいわいフェスティバルが開催できたら良いと考えています。
委員	高齢者や子どもといったワードをよく耳にしましたが、世代や分野を超えて集い、続けていくのが大事だと感じました。館長、副館長が団体の皆さんとコミュニケーションを取られているのを間近で拝見しており、素晴らしいと思っています。
委員長	こういった意見が出るのが日進市の市民自治活動の底力であると思います。
委員長	続きまして、議題「(3) その他」事務局からございますか。
事務局	次回の会議日程の連絡
委員長	ほかに何かございますか。
委員	絆子ども食堂が行っているフードパントリーと子ども食堂について、中日新聞の取材を受けました。フードパントリーは三本木町のファミリーマートから始まり、今では全国的に広がっています。そのことを、皆様と情報共有させていただきます。
委員	以前にぎわい交流館を利用して活動していた引きこもりの子から、内定が決まったと連絡がきました。交流館の方にもお世話になったので感謝しています。
委員長	こういった好事例がたくさん出てくると良いですね。
委員長	本日の議題の審議について全て終了したが、他にあるか。
事務局	特にないため、閉会を宣す(午後7時15分)